

いのちを守る! 防災・減災ニューデールを推進



6月26日、市内の社会インフラ総点検として、御池大橋(中京区)を視察



5月28日、市会本会議で「防災・減災ニューデールによる国土強靱化を求める意見書」を提案し、全会一致で採択

社会インフラを整備し、 経済再建の突破口を!

6月26日、公明党市会議員団は鴨川にかかる御池大橋(中京区)を視察しました。京都市では「いのちを守る橋りよう健全化プログラム」を策定し、大規模災害時の緊急輸送道路に架かる橋りようを総点検し、耐震化と老朽化対策を進めています。市が管理する約3000の橋りようは、20年後に8割が築50年を超えます。そのうち、防災上重要で耐震化が必要な橋りようの優先順

経済活性化の切り札

位を決め、5年以内に老朽化修繕を完了する52橋をはじめ、150億円の予算を投入しています。

100兆円の集中投資を行ない、安心の社会基盤整備を構築すると同時に、100万人の雇用を創出する経済活性化ビジョンを明確にしています。

公明党は「防災・減災ニューデール政策」を掲げ、いのちを守るための社会資本(インフラ)整備に10年間で強く発信してまいります。

緊急!

門川市長に 「通学路安全対策」を 申し入れ



公明党議員団は、5月9日、門川大作京都市長へ「学校通学路の安全対策について(緊急要望)」を提出しました。

亀岡市をはじめ、全国で通学中の児童

が犠牲になる痛ましい事故が相次いでいます。尊い人命を守るために、学校通学路の安全対策について3点の緊急要望をさせていただきましたものです。

- ①通学路の徹底調査・点検を踏まえた「京都市通学路安全計画」を早急に策定すること
- ②補正予算を組み、ソフト・ハード両面の緊急対策を、地域の実情に合わせて講じること
- ③京都府警など関係団体との連携を強化し、実効性あるものにしていくこと

門川市長からは、子どもの通学路の安全対策を最優先して取り組むとの回答がありました。

京都活性化へ

代表質問

京都市会定例本会議の代表質問で、公明党市会議員団は市民の声を届け、生活実感に裏付けられた政策を提言。平成24年2月議会では3月2日にひおき文章議員(北区)、曾我修議員(伏見区)、平山よしかず議員(西京区)が、5月議会では5月17日に井上教子議員(下京区)と青野仁志議員(中京区)が質問に立ちました。



また、市民の意見やニーズを把握し、具体的な政策に結びつける仕組みを構築するため、無作為で抽出した市民に参加を促す討議会を提案。市長が確約したとおり、7月

市政への市民参加について

また、市民の意見やニーズを把握し、具体的な政策に結びつける仕組みを構築するため、無作為で抽出した市民に参加を促す討議会を提案。市長が確約したとおり、7月

ひおき文章議員のおもな質問項目

- 市長選挙の投票率について
- 大都市としての京都市の在り方について
- 予算執行にあたって
- 市政への市民参加について
- オンブズマン制度について

大都市としての京都市の在り方について

ひおき文章議員は、地方分権の時代を先駆けるビジョンの重要性を指摘

し、市民と議会、行政が一体となって議論を進める「京都版・地方制度調査会」の創設を提言。門川市長は、関西広域連合に参加する意思を正式に表明し、地域主権改革を強力にすすめると答弁しました。



ひおき文章議員「北区」

に「京都・未来まちづくりミーティング」として正式に実現しました。

オンブズマン制度について

さらに、市民本位の市政実現に向け、京都活性化のために市民の目線を重視する観点から「オンブズマン制度」の導入を提案しました。

メガソーラー設置について



曾我修議員は、太陽エネルギー利用促進のため、「水垂埋め立て処分場のメガソーラー発電所」の早期実現と、今後の新たな事業拡充として浄水場等を活用するよう提言しました。門川市長は、早期に運転開始すると確約。7月には鳥羽水環境保全センターに設置すると正式に発表がありました。



曾我修議員「伏見区」

地域包括ケアシステムについて

次に、高齢者が安心して生活できるよう、地域でトータルに支援する「地域包括ケアシステム」を充実強化するべきと提案。市長は「地域包括支援センター」の専門職員3割増と、高齢者約7万世帯への全戸訪問などの具体策を約束しました。

障がい児に対する療育の充実について

また、障がい児支援制



平山よしかず議員「西京区」

市有地の計画的活用について

平山よしかず議員は、厳しい財政状況にある京都市において、市民の財産である市有地を有効かつ計画的に活用する戦略を持つ重要性を提唱。門川市長は、全庁横断の仕組みを構築し、市有地活用の基本計画を取りまとめると確約しました。

男性介護者に対する支援について

また、介護に従事する家族から負担軽減のご相談を多くお聞きする中で、男性介護者を始め家族介護者の支援を充実するべきと訴え、企画監から在宅訪問介護サービスの拡充や中小企業への補助制度の創設など、具体的な施策が発表されました。



若者の就職支援について

さらに、厳しい雇用状況を直視し、新卒者をは

平山よしかず議員のおもな質問項目

- 市有地の計画的活用について
- 区役所の権限強化について
- 生活保護受給者の就労支援事業について
- 若者の就職支援について
- 高齢者に対する住宅政策について
- 男性(家族)介護者に対する支援について

曾我修議員のおもな質問項目

- 再生可能エネルギーの利用拡大の取り組みについて
- メガソーラー設置について
- スポーツツーリズムの推進について
- 動物愛護行政の推進について
- 成人用肺炎球菌ワクチン予防接種について
- 地域包括ケアシステムについて
- 障がい児に対する療育の充実について

度の強化が図られる中で、京都市南部地域で療育サービスが不足するなどの課題を提起。星川副市長は独自の補助制度を創設すると答弁しました。

じめ若者の就職支援を充実するべきと主張。副市長は、国に財政支援延長や新規事業創設を働きかけるなど、積極的な事業展開を約束しました。

また、高齢者が幸せに暮らせる京都の構築のため

京都市長寿すこやかプランについて

井上教子議員は、「歩い

公共交通センターについて



井上教子議員「下京区」

井上教子議員のおもな質問項目

- 京都市長寿すこやかプランについて
- 地域の防災力向上について
- 認可外保育園の支援について
- 小中一貫教育について
- 公共交通センターについて

め、長寿すこやかプランに「成年後見制度」や「リビング・ウィル（生前の意思表示）」について

認可外保育園の支援について

大きな前進である「認可外保育園」への具体的な支援を求め、子育て支援政策

健康診断の実施を支援する制度など、子どもたちの保育環境の充実を図るとの答弁がありました。

通学路の安全対策について

青野仁志議員は、学校通学路の安全対策を最優先で取り組むべきと訴え、門川市長は公明党市会議員団の緊急要望を踏まえた迅速な取組を確約。

総点検に基づいたソフト・ハード両面の具体策に取り組む中、必要に応じて補正予算を検討すると答弁しました。



青野仁志議員「中京区」

学校における防災教育について



また、東日本大震災の際に釜石市で大きな成果を挙げた防災教育を京都

青野仁志議員のおもな質問項目

- 木造住宅の耐震化について
- 通学路の安全対策について
- 生活保護受給者の就労支援事業について
- ポリオワクチンの予防接種について
- 子育て支援に関する情報発信および相談体制について
- 学校における防災教育について

ポリオワクチンの予防接種について

市が積極的に実践するよう求めたところ、教育長は「自ら判断し行動する力」を育成するための具体策を発表。さつそく、保護者や地域の方も参加できるよう休日参観日の活用が実現しています。

さらに、9月から導入される不活化ポリオワクチンで、接種方法や母子手帳の取り扱い等の課題があると指摘。副市長が具体的な改善ときめ細かな周知を確約しました。

平成24年市会定例会 意見書・決議

【2月議会】

	件名	提出会派	会派名					
			公明党	自民党	共産党	民主党	京都府	み・無
意見書	介護保険におけるショートステイの食費の1食単位での設定義務付けを求める意見書	全会派	○	○	○	○	○	○
	父子家庭支援策の拡充を求める意見書	全会派	○	○	○	○	○	○
	介護保険制度の安定的な運営のための対応を求める意見書	自民、共産、公明、京都、み・無	○	○	○	○	○	○
	若者雇用を巡るミスマッチ解消を求める意見書	自民、公明、京都、み・無	○	○	○	○	○	○
	戸別所得補償制度の見直し等、農業政策の立て直しを求める意見書	自民、公明、み・無	○	○	×	×	○	○
決議	介護保険料軽減に向け、国及び京都府に対し取組強化を求める決議	自民、共産、公明、京都、み・無	○	○	○	○	○	○
	東日本大震災で発生したがれきの受入れに関する決議	自民、民主、公明、京都、み・無	○	○	×	○	○	○
	技能労務職への職員の採用の再開に関する決議	自民、公明、京都、み・無	○	○	×	×	○	○
	京都市子ども医療費支給制度に関する決議	自民、公明、京都	○	○	×	○	○	○
	原子力発電に依存しないエネルギー政策への転換と再生可能エネルギーの普及拡大に関する決議	自民、公明、京都	○	○	×	○	○	×

【5月議会】

	件名	提出会派	会派名					
			公明党	自民党	共産党	民主党	京都府	み・無
意見書	夏の電力不足対策に関する意見書	全会派	○	○	○	○	○	○
	再生可能エネルギーの導入促進に向けた環境整備を求める意見書	自民、共産、民主、公明、京都	○	○	○	○	○	○
	無免許運転の根絶のための法改正を求める意見書	自民、民主、公明、京都、み・無	○	○	○	○	○	○
	「防災・減災ニューディール」による国土強靱化を求める意見書	自民、民主、公明、京都、み・無	○	○	○	○	○	○
	大飯原子力発電所3号機、4号機の再稼働に関する意見書	自民、共産、公明、み・無	○	○	○	○	×	○
	「子ども・子育て新システム」関連法案の取下げを求める意見書	自民、共産、公明	○	○	○	×	×	×
決議	「横大路運動公園」への専用球技場誘致を推進する決議	自民、民主、公明、京都、み・無	○	○	×	○	○	○
	陸前高田市から取り寄せた薪の早期解決に関する決議	自民、公明、み・無	○	○	○	○	○	○

(注) 公明＝公明党京都市会議員団
自民＝自由民主党京都市会議員団
共産＝日本共産党京都市会議員団
民主＝民主・都みらい京都市会議員団
京都＝地域政党京都府京都市会議員団
み・無＝みんなの党・無所属の会



公明党議員団 東奔西走!!

公明党京都市会市議団は、現地現場主義に徹し、市内各地を視察するとともに、市民の中に入って積極的に“ナマの声”をお聞きしています。

3月22日には、スポーツ政策提言を門川市長に提出。6月14日には、京都弁護士会の方々と意見交換しました。



スポーツ政策提言提出 (3/22)



京都マラソン開会式 (3/11)



京都市観光案内板 (3/22)



高齢サポート御池視察 (4/4)



弁護士会意見交換 (6/14)



京都駅ミスト視察 (6/25)



消防バイク隊視察 (7/20)

公明党京都市会議員団の顔ぶれ

①期数 ②委員会 ③会派役職



中京区

青野 仁志

①1期②まちづくり委員会③政調副会長



左京区

国本 友利

①1期②経済総務委員会③政調事務局長



上京区

吉田 孝雄

①2期 ②まちづくり委員会 ③幹事



北区

ひおき文章

①6期 ②交通水道消防委員会



右京区

湯浅 光彦

①3期 ②くらし環境委員会 ③幹事



南区

大道 義知

①6期 ②経済総務委員会



下京区

井上 教子

①4期 ②くらし環境委員会



山科区

久保 勝信

①3期②教育福祉委員会③副団長



伏見区

津田 早苗

①3期②教育福祉委員会③政調副会長



伏見区

曽我 修

①3期②交通水道消防委員会③代表幹事



伏見区

谷口 弘昌

①6期②交通水道消防委員会③団長



西京区

平山よしかず

①2期②交通水道消防委員会③政調会長

京都いつでもコール
市政情報総合案内コールセンター

市の手続きや制度、イベント、施設に関する問合せにお答えする窓口です。
午前8時～午後9時(年中無休)

●TEL:075(661)3755 ●FAX:075(661)5855
●電子メール(以下のホームページから)
パソコン <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>
携帯電話 <http://www.city.kyoto.jp/koho/m/cc/>
左記の二次元コードから携帯電話でアクセスできます(一部機種除く)



みなさまの「ご意見」・「ご要望」などを
公明党京都市会議員団にお寄せください

●TEL:075(222)3732
●FAX:075(212)3608
●ホームページ: 公明党京都市会 検索

